

2022年社長年頭挨拶

「危機意識と先見性を持って

強い会社を目指そう」

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、丸太Gの全社員、そしてご家族のみなさんに、新年のお慶びを申し上げます。

21年を振り返って

世界的に影響を与えている新型コロナウイルス感染症は、感染拡大から2年経過した現在、ワクチン接種や新薬開発など光明がある一方で、収束点はいまだ見通せない状況が続いています。また、各企業は従業員の働き方や暮らしなど、新たな環境への適応によって事業継続を図る動きが広がっています。国内景気も東京オリンピック以降、製造業中心に回

復傾向にあるものの、世界的な半導体不足の影響により、一部企業では生産を停止するなど、需要と供給が不安定となり景気は、一進二退の動きとなっています。

当社を取り巻く経営状況は、リア工事の遅延や燃料高騰化など影響を受ける中、世界的な経済活動の再開により主要客先の生産量が堅調に推移し、無事に決算を迎えられる予定です。これも、社員皆さんが一体となった協力体制の成果であると思います。

22年に向けて

世界は引き続き、新株コロナウイルスや地政学リスクの緊張などにより不安定さが増す中、カーボンニュートラルや第4次産業革命といわれる大きな技術革新により、各企業は大きな変革が求められています。丸太Gも今後の予測不可能な出来事に対する危機感を常に意識しなければなりません。その為、中期のみならず長期計画を策定しました。既に始動している

23中期は、世の中の環境変化に適応するスリムで強靱な経営体質の確保と、社会貢献を目指しています。そして、10年先の時代を想像し、先手を打って計画の遂行をしていきます。同時に私たちは「ホワイト企業への挑戦」を掲げた活動も重点課題として取り組み、予測されるマイナス要素の改善やゼロ災、異材ゼロ、コンプライアンス、健康管理の徹底を進めて参ります。

社員の皆様と共に

まず、「健康を大切に」して下さい。社員皆さんの心と体、両方の健康なくしては、力を十分には発揮できません。そしてご家族の幸せがあつてこそ、仕事を円滑に進めることが出来ます。健康を維持して、心と体のバランスが取れた会社生活を中心掛けてください。

次に「おもてなし」の精神を常に持つてください。これは当社の成長基盤にも繋がるものです。会社が持続的な成長を成し遂げても、皆

さん一人ひとりが社会人・企業人としてお客様や相手を敬う心と挨拶・礼儀を持たなくては、会社の信用は一瞬にして損なわれます。昨今のウイルス感染対策により、会社での対面コミュニケーションも減り、毎日の変化や出来事に社員の関心が低下していく危機感を感じています。その対策の一環として、これから将来を担う社員の教育を通じて、意識の高揚活動に注力します。挨拶をはじめとしたコミュニケーションを活発に行い、構想力、発想力を磨く努力を重ねることで、社員一人一人がより効率的で生産性の高い事業遂行力を身に付けることができると考えています。今年も丸太G I 一丸となって頑張っ

て行きましょう。

年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈りして新年のご挨拶といたします。

代表取締役社長

高村重好

仕事始め式

22年1月5日（水）

新年の穏やかな朝を迎え、役員・本社従業員が元気に出社し、WEB形式で密を避けた体制で丸太運輸の仕事始め式が執り行われました。

高村社長の新年挨拶を胸に、新たな気持ちで毎日の仕事が始まりました。



仕事始めの挨拶をする高村社長

社長新年のご挨拶

あけましておめでとうございませう。皆さん、穏やかなお正月を迎えられた事とお慶び申し上げます。年始から、コロナウイルスの感染者が国内で増加しておりますが、引き続き感染防止の徹底と健康を皆さんと一緒に守っていきたく思います。

世の中に目を向けますと、2025年に大阪万博が予定されています。50年前の1970年にも大阪万博が開催され、当時、太陽の塔を作った岡本太郎氏は、「科学・技術の進歩によって人類が幸せになると誰もが信じていました。ところが人間の弱体化してきている」と、人間が弱体化してきている事を危惧している言葉がありました。確かに、昨今の世の中を見てみると、学校教育や家族、社会で人を叱る事・厳しく躾ける事が無くなると同時に、情報化の進展

により便利な世の中になってきている反面、機械やシステムに頼りすぎて、人間が弱体化しているのではないかと思われまふ。当社はサービス業であります。これまで以上に世の中の変化に対応できる、強い人材を作る必要が求められています。そのため、教育制度も充実させていかなければなりません。

年頭にあたり、丸太G Iの皆さんは、目標をもち、年末にどれだけスキルアップしたかを確認する意識をもって下さい。また、給料は貰うものじゃない、取りに行くものだという気構えで、この一年頑張っていたきたい。

最後に、今年一年、皆さんと一緒に仕事ができることを嬉しく思うと同時に、期待を感じさせる一年にして行きましょう。



2022 Change & Challenge

～2030年構想の実現へ～

\\ **2022年 上期 スタート!** //



2021年は、経済活動の回復に伴い、鉄鋼需要・工事完工が増加。さらに生産性向上策やコスト削減効果、助成金受給も追い風となり業績が急回復した。

22上期計画は、2030年成長シナリオに掲げた「スリムで強靱な事業体質」へ、経営基盤の強化に向けた事業活動を推進します。国内環境は、半導体不足による製造業全般のサプライチェーン影響、また、新たな感染症拡大の懸念も残ります。「運営」「管理」「安全・衛生・健康」の強化を推し進め、変化に着実に適応して、全社員一丸となり、22年上期計画を実現させましょう！

全社事業方針

経営基盤の強化推進

1 運営の強化

[全社]

- ・生産性の追求(見える化)
- ・一人当たりの利益率向上(スリム化)
- ・定員の確保(残業抑制)

[Lgs-A]

- ・営業部の新設 … Gr 連携体制

2 管理の強化

[全社]

- ・收受業務の総点検&システム化推進
- ・ハラスメント防止策の教育(CRM)

3

**安全、衛生、
健康の
管理強化**

丸太運輸株式会社

プロダクションエリア

- 無災害継続、品質/識別/環境活動の強化
- 収益確保/利益率向上
 - ・損益分岐点の引下げ(生産性追求)
 - ・標準単価の改定(継続)、
 - ・契約内容の見直し(変動制単価等)
 - ・相互応援体制の強化
 - ・工事、パキウム作業拡販
- 環境変化への適応力向上
 - ・増産負荷軽減(36協定、有休取得対応)
 - ・沿岸荷役作業 内製化への取組み
 - ・知多第2 23年4月～PM機増設

ロジスティクスエリア

- 重大災害撲滅、識別異常ゼロ
- 営業組織の再編、新規開拓へGr連携営業(継続)
- 料金・運賃適正化
 - ・積待ち請求化、ベース運賃の改定準備、
 - ・下払い料金整理
 - ・君津収益改善活動
- 生産性UP、効率化の追求
 - ・物流 生産変動(上・下振れ)への即対
 - ・倉庫 高在庫下での安定運営、静岡C改善
 - ・車両/船 出荷効率改善、内航船 扇町荷役改善
- 関西拠点再構築へ、構想確立

コンストラクションエリア

- 災害/重大事故ゼロの継続
- 最適受注への情報収集～体制整備
 - ・シールド 大口径 工期ズレ対応
 - (中小口径/付帯工事取込み)
 - ・エンジ エンジニアリング会社の受注/
 - 協業活動の推進
 - ・東レ 突発工事の最大対応
- 外注戦力強化、人材獲得/若手育成へ総力
- 生産性の追求
 - ・現有戦力での収益最大化、
 - 拠点/固定費見直し
 - ・新規アイテム/サービスの導入検討

エンジニアリング

レンタル

事業開発部

- 事業基盤強化
 - ・玉ノ湯跡地 最適な事業用賃貸先の選定
 - ・大江ビル 建替検討(築60年 老朽化対応)
- 植物工場
 - ・新生産品 薬用植物、加工品開発としての事業化
 - ・収益拡大 インターネットでの販路構築
- 新規事業取組み
(事業部売上拡大の具現化)

安全推進部

- 完全無災害の追求
 - ・安全行動三原則の遵守
 - ※挟まれ、巻き込まれ事故撲滅
- 安全体制の整備、取組み活性化
 - 【管理体制】
 - ・リスクアセスメントの積極的な実施
 - ・困り事/ハットヒヤリ情報からの先取り改善
 - ・ひとり作業者の感性アップ
 - 【教育体制】
 - ・繰返し教育による安全感性の向上
 - ・職場安全衛生推進者による事業所内教育
 - ・輸送安全作業向上(製品落下事故防止強化)
- 安全職場の確立
 - ・定期的な役員パトロール
 - 事業所安全巡視パトロールの実施継続

管理統括部

- 全社Gr(事業部)の稼ぐ力を最大サポート
- ①業務集約(省力・省人化) → 人材再配置
 - ②各種リテラシーの向上(財務/システム等)
 - 総務
 - ・採用注力
 - ・働き方改革の推進
 - 財務
 - ・全社Gr経理業務集約への取組み
 - ・電子帳簿保存法対応
 - 企画
 - ・環境負荷低減(モーダル輸送、船燃料)
 - ・国交省指針「適正運賃の收受(タリフ)」への交渉準備
 - CRM
 - ・承認行為全般の見直し
 - ・ハラスメント防止策の教育
 - システム
 - ・22年1月～社内ポータル
 - ・全社Gr合理化案件の洗出し
 - 海外
 - ・22年1月～新規車両導入
 - ・新運営体制の構築

グループ会社

マルタアマゾン

- 完全無災害、健康取組の強化
 - ・乗務員作業手順の整備
 - ・健康管理とメンタルヘルスフォローの強化
- 運行管理体制の整備
 - ・24年4月～時間外上限規制対応
 - (給与形態、配車、適正戦力)
 - ・地場配車管理強化へ作業長育成
 - ・資産(主に車両)の4S、整備強化
- 売上拡大と収益改善
 - ・不採算定常作業の洗出しと料金改定取組み

ブルーペッパー

- 災害ゼロ職場の完全定着
- 物流体制の整備、再構築
 - ・Gマーク取得による「IT点呼」導入、
 - スリム化推進
 - ・積み込み班(王鉄、シブ)の作業領域拡大
- 収益基盤の拡大
 - ・東京支店と共同活動による拡販の推進
 - ・無蓋倉庫の倉庫業申請～外部貨物取り込みへの準備
- 南関東拠点の集約(構想案の策定)

マルタパワーズ

- 災害ゼロ、異材/品質クレーム「ゼロ」
- 労働負荷、環境改善
 - ・時間外労働の実態適正把握～削減
 - (新デジタコ導入)
 - ・給与形態の見直し検討
- 輸送量確保、利益の追求
 - ・不具合単価の見直し交渉(継続)
- 住友カーボンニュートラル(Co₂削減)への対応
 - ・新産廃、リサイクル輸送の取り込み

群馬丸太運輸

- 無災害記録333ヶ月継続(22年6月末)の必達
- 運営改善の実行
 - ・不具合作業の洗出しと料金交渉
 - ・若手社員の流出防止策と
 - 外国人労働者雇用の検討
- 拡販へのトライと必要投資の見極め
 - ・有料職業紹介事業の許可申請
 - ・PM班新体制と外販チームの設立
- 次世代に繋がる新事業の研究

丸太自動車整備

- 休業災害ゼロ9,978日継続(22年6月末)の必達
- 生産性向上、拡販
 - ・セクション毎の作業工程見直しと新しい仕組み構築
 - ・既存顧客への積極的アプローチ
 - ・近隣同業他社の顧客/メカニック取り込み
- 24年4月～新車検制度への法改正対応
 - ・道路運送車両法特定制度/
 - 整備認証工場への適合
 - ・建屋/設備更新ヘレイアウト及び投資方針確立

M. ニューコン

- 利益目標の必達
 - ・共通 チーム横断の改善活動
 - ・派遣 採用力強化
 - ・商事 購買先の調査、開拓
- 管理体制の充実
 - ・事務作業のシステム化、多能工化
- ホワイトマーク認証取得へのアクション
- 新たな収益基盤構築への調査、研究

丸太グループ 全社 JK 大会

丸太グループ全社 JK 大会が今年も開催されました。
 新型コロナウイルス感染防止のため、前年度に引き続き今年も書類形式での審査となりました。
 8 グループの事例が選出され、厳選なる審査の結果、入選事例が決定しました。
 第一席に選ばれた群馬丸太運輸(株)のチェックマングループは、北島社長より表彰状と記念品が手渡されました。

一席

感動賞

群馬丸太運輸(株) チェックマングループ

テーマ:人の目照合からPOT照合へ

ヒューマンエラーによる識別ミスの撲滅をテーマとして取組み、POT 照合を導入したことで、作業工数の削減と鋼片・鋼塊照合の識別リスクレベルの低減を達成させた。



後列左から:平尾 満さん・原 新さん・山崎 貴行さん・南雲 浩さん
 前列左から:狩野 淳一さん・齊藤 豊さん・斉木 龍汰さん



表彰写真
 受賞者:山崎 貴行さん
 上 長:高橋 隆治さん

感動賞も頂けて光栄です。
 今後もさらなる
 改善活動に励みます。

二席

知多営業所
 オレンジマシニンググループ

役員賞

テーマ:未来の為の軌道保守



上段左から:山本 聡さん・深谷 知岳さん・木村 順一さん・大岩 一文さん
 下段左から:大岩 修哉さん・熊野 雄樹さん・西村 正也さん

機関車の脱線が長く問題視されていた為、レールに使用されているネジや木材の変更を行い、脱線要因の一つである軌間拡張の改善を達成させた。

三席

君津分室
 キミマルグループ

特別賞

テーマ:材料ヤード高リスク作業の低減化



左から 高山 悟さん・井上 喬章さん・石本 敏行さん

バー材を君津工場に入庫させる際の荷卸し作業・給材作業において、安全設備不足と重大災害リスクの可能性が問題視されていた為、内製化で高リスクの削減を実現した。

システム開発チーム x64グループ

テーマ:パソコンのセットアップおよび
更新作業の効率化



左から 山田 龍太郎さん
釋迦堂 和紀さん

パソコンの入替を行うにあたり、データ移行をするのにかなりの時間を要するため手順の見直しを図った。ソフトウェアの利用や手順書を作成したことで、作業時間を大幅に短縮した。



星崎営業所 モリモリグループ

テーマ:選別作業場移設に伴う
不具合箇所改善



左から 登谷 元男さん
佐野 宏文さん

長尺屑選別作業場の移設に伴い、作業効率や安全上の問題点を抽出し、作業場のレイアウト改善を行ったことで不具合箇所件数の削減を達成させた。

東レ営業所 技能伝承グループ

テーマ:シャットダウン工事時の必要書類の
効率化



左から 千原 英之さん
奥屋 秀介さん
加藤 誠人さん
村元 克也さん
山本 昌樹さん

繁忙期のシャットダウン期間中、担当者の残業時間が大きく増加してしまうことから必要書類の書式変更を行い、作業効率の向上とペーパーレス化を達成させた。

(株)マルタパワーズ PWZ5Sグループ

テーマ:車庫門扉の早朝・夜間の視認性
向上対策



左から 後藤 祐二さん
光崎 正人さん
青山 将道さん

車庫門扉の視認性が低く塗装も劣化している状態だった為、塗装の塗替えや看板の取付けを行い夜間・早朝の接触事故の可能性を低減させた。

丸太自動車整備(株) チーム点検大事

テーマ:高齢者が安心して働ける
職場環境作り



左から 佐々木 豊さん
小牧 英治さん

再雇用者の就労が進む中で高齢者による労災の割合が増加傾向にあるため、作業場の改善と美化活動を実施し、作業環境・作業方法の快適化を実現した。

MARUTA NEWS

2021年12月頃までの主な出来事を
一挙にご紹介します。



※写真上段左から、磯村 忠さん、千葉 正雄さん、
写真上段左から、加藤 雅男さん、橋詰 貞雄さん、高村社長、工藤委員長、青山 俊之さん

交通安全賞章 「緑十字銅賞」

安全管理チームの中村さんが、交通事故防止と交通秩序に貢献されたとして、全日本交通安全協会より、交通安全賞章「緑十字銅賞」が贈られました。長年の安全活動と安全運転が評価され、今回の表彰となりました。誠におめでとございます!!



緑十字銅賞



安全管理チーム 中村修造さん

定退式

12月22日(水)に本社5Fにて、定年退職者感謝状授与式が執り行われました。今回は、21年12月度、22年3月度の定年退職者感謝状授与式を合同で開催されました。高村社長から定年退職者へ感謝状と記念品が手渡され、日頃の功績へ感謝のお言葉をいただきました。

2021年12月定年退職者	橋詰 貞雄 殿
2021年12月定年退職者	青山 俊之 殿
2022年3月定年退職者	加藤 雅男 殿
2022年3月定年退職者	千葉 正雄 殿
2022年3月定年退職者	磯村 忠 殿

(高村社長)

コロナ禍ではありますが、本日は合同で感謝状を手渡すことが出来ました。定年を迎えられる5名の方、引き続き社のために尽力頂きたい。そして、健康に気を付けて、後進の指導に力を注いでください。ご活躍をお祈りしております。

星崎営業所へ

絵画の寄贈

21年11月1日の大安吉日、星崎営業所に高村社長から素晴らしい絵画を寄贈して頂きました。

この絵画は、丸太運輸OBである今枝昌嗣様の作品です。3部作のうちの一つとの事で、知多営業所の応接室にもそのうちの別の作品が飾られています。

所員みんなで絵画を傷つけないよう慎重に応接室の壁面に飾り付けしました。

絵画を拝見すると大きさもさることながら、色のコントラストの美しさや壮大な迫力に圧倒されてしまいました。

コロナ禍の今、なかなか海外旅行に行くこともできないので星崎営業所にて海外旅行気分を味わってみませんか？笑
来所された際は是非ご覧になってください！

元浜センター ストレッツジムオープン

皆さんご安全に！元浜センター2階に、ストレッツジムが開設されました。一見、筋トレ設備に見えますが、健康促進が会社でも言われるようになり、「自分の体は自分で守る」・「怪我をしない強い体づくり」を目的とした体感トレーニング設備です。特に40代後半になつてくると、肩・腰・関節などの不調が増えてきます。丸太Grの皆さん！健康な体作りに向けて行動してみませんか？安全管理チームでは、設備の使い方など「優しく」手取り足取り教えますよ！お待ちしております。



知多工場丸太運輸修理場

(パンク整備場含む)築55年に幕

知多工場修理場の背景

昭和41年（1966年）8月〜令和3年（2021年）10月5日迄、約55年に渡り運用してきた、知多工場丸太運輸修理場が工場の駐車場増設に伴い幕を閉じた。

この修理場は、昭和41年8月より長きに渡り大同特殊鋼株と土地賃借契約が交わされた歴史的背景がある。



▲以前の修理場

修理場の解体▼



修理場での主な作業内容

修理場での主な作業内容は、パンク修理、仮想災害訓練、製缶作業、クレーン設備の解体、組付けからなり、作業者の安全の確保、作業効率化を目指し取り組んできた…。

結果、丸太運輸（木沢産業株含む）の安全面、作業効率化としての成果に繋がってきたと自負している。



仮想災害訓練

新修理場について

現在、新修理場は岸壁沿い、パロンテント西側大同マシナリー株整備場跡地に移転し業務を開始した。今後も旧修理場同様、パンク修理、仮想災害訓練、製缶作業等を継続し、安全に作業の効率化を追求しながら後世に引き継いでいきたい。



現在の修理場

安全だより

担当
安全管理チーム 相原 学

「安全」

■安全の「安」はウ冠に「女」と書きます。「ハ」の字は交差して覆う屋根をかたどり、家屋を意味します。
女性は奥さん？恋人？娘さん？いずれにしても、『家で待つ大切な人を守る』ために、安全は必要です。



I. 「安全」とは何か!?

「安全」というと身体的なことばかりと思っている人がいますが仕事でも気にかかることがあれば安心できません。
つまり楽しめていないということとです。「身体的に危険がなく楽しめている状態」こそが本来の安全の姿です。

II. 「安全」は共有する!!

「信号機」は小さい頃に赤は止まれ！青は進め！と何気なく教えられた記憶は誰にでもあるはずで
す。このように誰もが共有するからこそ、「信号機」は安全なのです。もしも、自分だけ赤は進め、青は止まれだと思っていたらどうなるでしょうか？ 自分は安全だと信じていても、実際にはとても危

険で周りの人も危険です。同じようにひとりだけの安全と言うのはとても危険なこととす。今、あなたが思っている「安全」は第三者と共有してこそ意味があることを忘れないでください。

III. 「安全」がお金を生む!!

どんなに仕事ができても、ミスばかりする、怪我が多い、そんな会社に仕事をお願いしますか？ 今仕事をしているのは、安全だと信頼されているからです。行動した結果の「安全（＝信頼）」にお金が発生しています。売上を伸ばしたい時は、まず「楽しく安全な仕事」をイメージすることで、人のモチベーションは自ら湧きたち、行動した結果、安全（＝信頼）から売上を得ることが出来ます。

コンプラだより

ウイルス感染を防ぐごみの出し方は？

ウイルスはどのようにして感染するのでしょうか。
例えば、新型コロナウイルスは、主に「飛沫感染」と「接触感染」と言われています。マスクやティッシュなどのごみからウイルスに感染するリスクは十分あり得ます。ウイルスに感染しない、させないごみ出しを心がけましょう！



感染しない、させないごみの出し方 3つのポイント

<h3>3 手を洗う</h3> <p>ごみを出した後はよく手を洗いましょう。</p> 	<h3>2 他人にごみを触らせない</h3> <p>ごみ袋をしっかりと結びましょう。 ごみ袋は破れていない？ ごみ袋の空気を抜いた？ ごみ袋の口をギュッとしっかりと結んだ？</p> 	<h3>1 自分にごみを触らない</h3> <p>ごみ箱にごみ袋をつけましょう。 ごみ袋は破れていない？ ごみがあふれていない？ ごみ箱の周りにごみは散らかっていない？</p> 
--	--	---